

3 / 3 1 (水)の発表



ウポポイ
NATIONAL CENTER FOR POLAR RESEARCH
民族共生象徴空間

北海道白老町に2020 OPEN!

報道発表資料の配付日時 3月31日(水) 10時00分

発表項目 (行事名)	令和2年度エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業の実施結果について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	北オホーツク道立自然公園ベニヤ原生花園において、令和2年度エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業を実施しましたので、お知らせします。 (詳細は別添のとおり。)		
参考			

報道(取材) に当たって のお願い			
他のクラブ との関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		

担当 (連絡先)	保健環境部環境生活課長 瀧澤 克昌 TEL ダイヤルイン 0162-33-2919 (内線2950) 担当者 自然環境係長 中島 浩之 TEL ダイヤルイン 0162-33-2922 (内線2977)		
-------------	---	--	--

令和2年度エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業委託業務（浜頓別地域）業務結果報告

1 目的

北海道内においてエゾシカの生息数や農林業被害等がいまだ高水準であることから、地域で行われている他の捕獲事業と連携し、道立自然公園特別地域内の捕獲困難地での捕獲を道が行うことにより、事業実施地域周辺のエゾシカによる農林業及び生活環境に係る被害、生物多様性に及ぼす影響等を減少させるとともに、地域全体のエゾシカ捕獲効率向上を目的として実施した。

2 受託者

株式会社高橋組（枝幸郡浜頓別町・認定鳥獣捕獲等事業者）

3 契約期間

令和2年（2020年）12月1日～令和3年（2021年）3月22日

4 実施場所

浜頓別町字頓別（北オホーツク道立自然公園ベニヤ原生花園）

5 事業内容

餌の少ない冬期間に給餌によりエゾシカをおびき寄せ、銃による捕獲を実施。また、スノーモビルを活用した追い込み猟を併用した。（目標頭数40頭）

6 実施結果

令和3年2月捕獲実施（計4回）

捕獲頭数 計61頭(オス23頭、メス38頭)

※ 内訳 2/ 7 12頭(オス2、メス10)

2/14 13頭(オス6、メス7)

2/21 16頭(オス7、メス9)

2/28 20頭(オス7、メス13)

7 検証結果

- 給餌に使用する餌の嗜好性や誘引性について
越冬個体数が想定より多かったため、用意した餌は直ぐに食べられたことから嗜好性の検証はできなかったが、与えたサイレージ等の誘引効果は高かった。
- 銃による効果的な捕獲手法について
(発砲音で逃げるエゾシカの群れをスノーモビルでコントロールする方法含む。)
安全な銃猟の確保のため、撃ち下し可能なエリアにエゾシカを給餌で誘引し、目標頭数を上回る捕獲数を確保できた。ただし、捕獲回数を重ねるごとに、人の気配や誘引餌に対する警戒心も高まり森林に逃げ込む個体も多くなったことから、逃げ込む個体を誘導し捕獲する手法についても今後検討が必要。また、スノーモビルでの林内からの追い出しは一部成功したものの、射手が待つ方向への誘導は困難性が認められた。

8 その他

宗谷森林管理署、浜頓別町及び振興局の3者で協定を締結し実施した。

（役割） 宗谷森林管理署(林道除雪、給餌作業)

浜頓別町(捕獲個体の処分)

振興局(町道除雪、事前調査、誘引、捕獲、捕獲個体の運搬)